

財政再生計画の歳入・歳出推計 二次集計結果について(平成21年11月)

8月の一次集計後の精査、住民意見を踏まえた懸案事項の追加などにより、収支見通しを再推計。

- ・現計画の経常経費の見直し、時点修正
- ・現計画に盛り込んでいない懸案事項(当初57項目)の精査及び新規追加

平成36年度までの収支見通しでは、財政再建計画と比べ、**177億円の赤字解消不足が発生。**

H22～31の10年間の
赤字解消額 7,852百万円

【年度別収支推計の状況(単年度収支ベース)】

(単位:百万円)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H22-36累計
歳入推計	8,186	9,356	8,693	9,400	8,532	8,294	8,118	7,053	6,949	6,927	6,891	6,823	6,450	6,367	6,255	6,163	112,270
歳出推計	7,592	9,165	8,285	8,824	7,849	7,522	7,508	6,473	5,591	5,512	5,630	5,340	5,378	4,992	4,901	4,787	97,758
実質収支(A)	594	190	408	576	683	772	610	580	1,358	1,415	1,260	1,482	1,072	1,375	1,354	1,376	14,512

【財政再建計画の赤字解消額との比較】

再建計画赤字解消額(B)	1,015	1,378	1,419	1,576	1,617	1,800	1,904	1,782	2,304	2,346	2,405	2,592	2,494	2,802	2,877	2,945	32,240
再建計画との差(A-B)	▲ 421	▲ 1,188	▲ 1,011	▲ 1,000	▲ 933	▲ 1,028	▲ 1,293	▲ 1,202	▲ 946	▲ 931	▲ 1,145	▲ 1,110	▲ 1,422	▲ 1,427	▲ 1,523	▲ 1,569	▲ 17,728

【一次集計の赤字解消見込額との比較】

一次集計実質収支(C)	1,015	483	577	570	623	710	717	735	1,614	1,677	1,542	1,733	1,323	1,643	1,598	1,643	17,190
一次集計との差(A-C)	▲ 421	▲ 293	▲ 170	6	61	62	▲ 107	▲ 155	▲ 256	▲ 262	▲ 282	▲ 251	▲ 251	▲ 268	▲ 244	▲ 267	▲ 2,678

計数については、現段階の整理による積上げであり、今後の検討状況に応じ額の変更が生じるものです。

【平成22年度から36年度(15年間)の主な経費別収支比較】

(単位:億円)

	財政再建計画	財政再生一次集計	再建計画増減額	財政再生二次集計	再建計画増減額	主な増減内容
歳入	969	1,104	135	1,123	154	
税収入	228	128	▲ 100	126	▲ 102	税減少▲26 シューパロ交付金▲76
地方交付税	448	597	149	587	139	シューパロ交付金影響分57 特交60
使用料手数料	107	96	▲ 11	96	▲ 11	住宅使用料減
国・道支出金	106	168	62	181	75	新規事業及び扶助費の増加による増
地方債	18	59	41	74	56	新規事業に係る増
歳出	647	932	285	978	331	
人件費	93	150	57	146	53	職員数見直し、給与改善による増など
物件費	63	83	20	86	23	電算システムやし尿委託料の増など
維持補修費	36	58	22	64	28	住宅やし尿、道路に係る維持費増など
扶助費	131	176	45	177	46	保育所、生活保護、障害福祉扶助の増など
補助費等	50	78	28	52	2	市立診療所光熱水費負担など
建設事業費	39	126	87	146	107	住宅再編など新規事業の増
公債費	152	173	21	181	29	新規事業の実施に伴う増
収支(赤字解消額)	322	172	▲ 150	145	▲ 177	

【懸案事項の増減内容】

(単位:百万円)

		項目数	所要額
一次集計	懸案102項目のうち57項目	57	17,011
二次集計	57項目の見直し、再精査	-2	1,905
	当初102項目のうち18項目追加	18	784
	新規追加	14	690
二次集計後		87	20,390

住宅再編、診療所・し尿処理場新築の事業費見直し、人件費見直し
 敬老パス自己負担引き下げ、公共下水道事業累積債務の解消など
 (取下げ:し尿処理場維持補修、一般廃棄物最終処分場建設)
 生活館法定点検、戸籍事務電算化、老人福祉会館運営、市道維持補修など
 人工透析通院支援、診療所病床確保等負担、保育料引上げの見直し
 図書検索システム整備、小中学校パソコン整備、鑑賞機会確保
 行政財産修繕、診療所解体経費など